

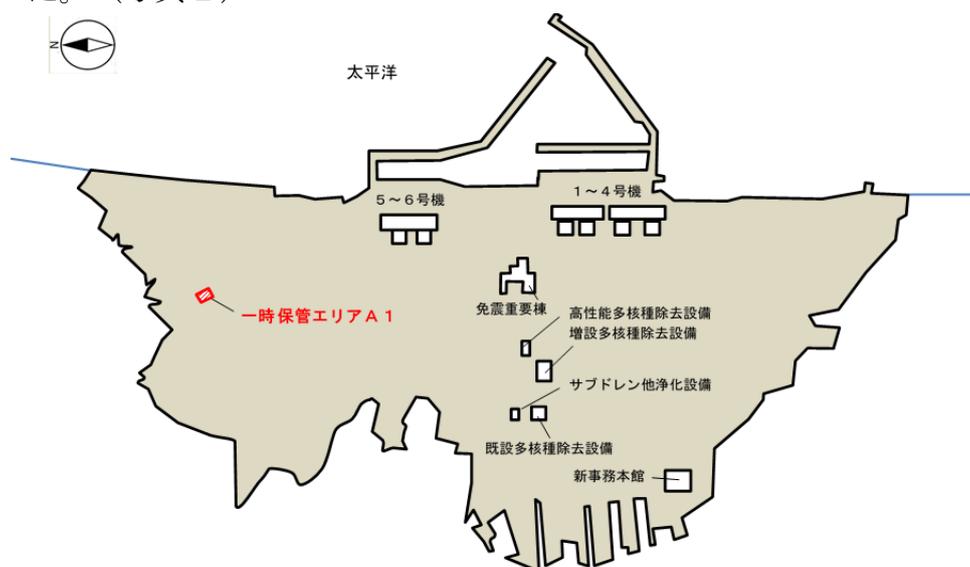
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年9月3日（金）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアA1
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアA1整備工事の状況

4 確認結果の概要

東日本大震災以降、30mSv/h以下の瓦礫類を一時保管するためのエリアとして運用されていた瓦礫類一時保管エリアA1（以下「一時保管エリアA1」という。）は低線量率の瓦礫類を保管するためのエリアへの転用が予定されている。同エリアを覆っていたテントを解体する作業が進められていることから、前回（[令和3年7月20日](#)）に引き続き作業の進捗状況を確認した。（図1）

- ・現場を確認した結果、一時保管エリアA1を覆っていたテントの解体が完了しており、底面は遮へい用コンクリートが解体されて土壌が整地されていた。（写真1、2）
- ・テント解体作業時に設置されていたエリアの四隅に繋がる連続ダストモニタ、テントの解体片を入れたコンテナ及びテント解体用重機は撤去されていた。（写真2）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



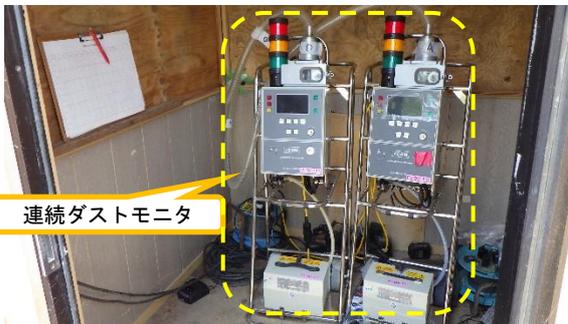
(写真1-1)
一時保管エリアA1の外観
(前々回撮影：令和3年6月28日)



(写真1-2)
一時保管エリアA1の外観
(前回撮影：令和3年7月20日)



(写真1-3)
一時保管エリアA1の外観
(今回撮影)



(写真2-1)
エリア南側に設置されていた
連続ダストモニタ
(前回撮影：令和3年7月20日)



(写真2-2)
エリア南側の連続ダストモニタが
設置されていた箇所
(今回撮影)



(写真 2-3)
エリア北側に設置されていた
連続ダストモニタ
(前回撮影：令和3年7月20日)



(写真 2-4)
エリア北側の連続ダストモニタが
設置されていた箇所
(今回撮影)



(写真 2-5)
テントの解体片を入れたコンテナ
及び解体重機
(前回撮影：令和3年7月20日)



(写真 2-6)
一時保管エリア A 1 の現況
(今回撮影)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。